

お手数ですが
62円切手
をお貼りください

8 9 7 - 0 3 9 2

フリガナ _____
◎ご氏名 _____

年齢 / _____ 歳 性別 / 男・女 _____

広報紙掲載の場合のお名前の表記
本名・匿名・イニシャル _____

ペンネーム (_____)

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。
◎ご住所 〒 _____

電話 (_____) _____

南九州市役所 企画課 行

広報紙を読んだ感想、取り上げてほしい記事、最近笑ったこと、身近な話題など、何でもけっこうですので、おたよりお寄せください。
62円切手を貼ってポストから郵送するか、市役所の各庁舎に設置してある『ご意見箱』へご投函ください。

おたより
ま
つ
て
ま
す



◀点線に沿って切り取ってください。
(官製はがきでも可)

街かど探偵 File.73

～著名な彫刻家が「高田石」を刻む！～ 国際彫刻シンポジウム 2018

3月7日から12日、川辺町高田の石切場で国際彫刻シンポジウム2018が開催されました。芸術を通じた国際文化交流として、招かれた世界的にも活躍している彫刻家たちは、地域に滞在し、今回のために採石した高田石を使って現場で公開製作をしました。同時に、採石技術や加工技術、地域の石文化の取材・記録・調査研究も行われました。

彫刻シンポジウムは、参加者が交流しながら現場で制作から完成まで同じ場所・期間を共有して作品制作をするもので、1950年代後半から各国に広まり、世界中で開催されています。



▲4人の彫刻家による高田石を使った作品。



▲カリン・ヴァン・オンメレンさん (オランダ)



▲ヨー・クライさん (ドイツ)



▲岡野茜さん

高田石切場

川辺町高田地区にある、墓石などに利用されていた高田石を採石していた石切場でしたが、現在は閉山されています。

川沿いの茂みから突如現れる神秘的な風景は見る人を圧倒します。

近くには摩崖仏や水汲み場もあり、地域の方が現在も大切に残している場所です。



▲朝野浩行さん

そのほか、子ども向けの石彫りや石彫工具の体験ワークショップや彫刻作家とのトークイベントも開催され、普段はひっそりと佇んでいる石切場がとても賑やかな雰囲気に包まれました。

閉会のセレモニーでは完成した彫刻作品の紹介、寄贈式も行われました。



▲真剣な表情でもくもくと石を彫る“子ども彫刻家”を発見！

※皆さんが知りたいこと、疑問に思うことがありましたら、市役所企画課 広報統計係までお知らせください。